

授業概要

幼保小連携を視野に入れ、児童の発達段階に合わせた「生活科の学び」を実践できる指導力を身に付けるために、学習指導要領「生活」に沿って、9つの学習内容の理解を深める。学生の主体的な学習を推進し、生活科教育に関する専門知識を活用した授業力を高めるために、演習を中心に教材研究を行い、学習指導案作成や模擬授業を取り入れ、実践的に学べるようにする。また、ICTを活用した授業構成についても理解し、活用できるようにする。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の目的と進め方について知る）	生活科の誕生と歴史
第 2 回	生活科の学習内容と階層性	
第 3 回	学習内容（5）（6）（8）の授業展開と解説	教材研究①
第 4 回	学習指導案の作成①	学習内容（5）（6）（8）の授業案の作成
第 5 回	模擬授業①	学習内容（5）（6）（8）の模擬授業
第 6 回	学習内容（1）（3）（4）の授業展開と解説	教材研究②
第 7 回	学習指導案の作成②	学習内容（1）（3）（4）の授業案の作成
第 8 回	模擬授業②	学習内容（1）（3）（4）の模擬授業
第 9 回	学習内容（2）（7）（9）の授業展開と解説	教材研究③
第 10 回	学習指導案の作成③	学習内容（2）（7）（9）の授業案の作成
第 11 回	模擬授業③	学習内容（2）（7）（9）の模擬授業
第 12 回	生活科の学び（気づきの質を高める学習過程と思考・表現を引き出す学習過程）	
第 13 回	ICTを活用した生活科の授業	
第 14 回	こどもの表現と学習評価	
第 15 回	単元づくりと年間指導計画の作成	
第 16 回	学期末試験（筆記試験）	

到達目標

- ・「生活科」における教科目標や子どもの学びについて理解する。（知識理解）
- ・生活科の学習内容についての理解を深め、教材研究を通して学習指導案を作成し模擬授業ができる。（技能）
- ・気づきの質を高める手立てや表現活動、教師の支援の在り方、ICTの活用等を考察できる。（思考）

履修上の注意

- ・予習・復習をしっかりと行い、授業内容を活用した学習指導案の作成や模擬授業に臨むこと。
- ・欠席した場合は、その日の授業内容や課題の把握に努めること。

予習・復習

- ・シラバスを確認する以外にも、授業で次回の講義についての予告をするので、事前に必ずテキストをよく読み、講義内容が理解できるようにしておくこと。
- ・復習として授業でとったノートを整理し、自分の言葉で学んだことをまとめておくこと。
- ・予習、復習共に必ず毎回30分以上の時間をかけること。（質問等あれば次回の授業で対応します）

評価方法

- ・受講態度や授業の振り返りコメント 20%
- ・課題レポート 20%
- ・学期末試験 60%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版
- ・出版年（ISBN）：2018年（978-4-491-03464-5）